

県政レポート

〈発行〉
北浜みどり事務所
平成26年6月
第5号

From フロム 自民党 兵庫県議会議員 北浜みどり

〒657-0832 神戸市灘区岸地通2-4-13 ☎ (078) 801-7102 FAX (078) 801-7789

介護・子育てに

3年間全力投球

少子高齢社会に焦点あて取り組み

初夏の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素はひとかたならぬご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、地域の皆様のご意見を賜り県政に反映させるべく、日々鋭意邁進してまいりました。この3年間は「介護・子育てに全力投球！」と皆様にお約束致しました事を貫き、福祉政策の改善や充実を求める事に多くの時間を費やして参りました。

「女性の問題を考える会」や「児童虐待防止プロジェクトチーム」の設立から始まり、県営住宅における障害者グループ

ホームの優先枠獲得や、風疹の予防接種に対する県の助成金を実現したことなど、1期生である私に大きな仕事をさせて頂いた3年間でした。

さらに昨年度（平成25年度）は、行財政構造改革の3年ぶりの見直しの年であり、私は財政担当チームに所属し、2000以上ある県事業の内、健康福祉関連の580事業を一つ一つチェックする重要な仕事に参画しました。

行革においては、神戸県民局から神戸県民センターに名称を変え、組織もよりフットワークを軽くして県民の皆様のサービス向上に努めています。また、灘区で行われる事業に県の関わりは大変多く、ミュージアムロードや摩耶山・六甲山の活性化から、都賀川整備やイノシシ対策まで、様々な

分野で関わっています。

昨年は摩耶山・六甲山の治山事業を県民にご理解いただくため、砂防・治水ダムのスタンプラリーを提案し、参加された登山者には好評を頂きました。この様にいろいろと工夫を凝らし、県行政を県民の皆様に紹介させて頂いています。

そして、以前から重点課題として取り組んでいますのが、阪神高速5号湾岸線西伸部



の一日も早い着工です。事業化前進に全力投球する決意です。

「おかげさま」の心を育てる

井戸知事は4期目の県政運営に当たり「ふるさと意識」の醸成を訴えています。「参画と協働」の根幹をなすものであり、自民党県議団がかねて主張しているお年寄りを敬い、家族・友人を慈しみ、伝統と文化を尊重し、育んできたふるさとを愛する心を取り戻すことと軌を一にするものです。

私たちは、自らが帰属する地域、家庭等々に誇りを持ち、感謝の念を持ち続ける大切さを謳っています。これは日本人が古来から有してきた美質であり、かつて地域社会に「向こう

三軒両隣」の言葉があったように、共助の精神が息づいていました。

虐待、いじめなど心の荒廃が、社会に深刻な影を落とす中で、明治以降、日本の近代化をリードしてきた兵庫が、いま、新たな使命を担っています。私は、全国に先駆けて県民運動に取り組んできた歴史を有する兵庫であるからこそ、地域や故郷、そしてそこに住まう人たちに感謝する心、表現を変えるならば「おかげさま運動」を提唱し、ぜひ根付かせたいと考えています。



子育てをする地域のお母さんたちと懇談する北浜議員（写真中央）。現場の生の声を県政に反映させています

自民党 政務調査会副会長に就任・政策提言に意欲！

北浜みどり県議が、今年度の自民党県議団政務調査会副会長に就任しました。

自民党は兵庫県政を支える責任政党として、県民と県政をつなぐ架け橋役を担っています。

所属議員は都市部から農村地域まで幅広く、県民から寄せられる要望に反映しながら政策の実現を進めています。

その中心を担う機能を持つのが政務調査会で、会長と3人の副会長が

県当局と協議しながら新しい政策の提言や調整に取り組んでいます。

北浜議員は、その重責を全力で担う決意を語りつつ、来春の統一地方選挙で評価される年となることを強調。「政策づくりの要となる職務で、議員間の調整や政策立案への情報収集やアイデアなどが不可欠となる。慎重に、かつ大胆な発想で、県政課題や地域の諸問題を踏まえた新たな政策を県政に提言していきたい」と強い意欲を示しています。



北浜みどり県議が自民党県議団の政策づくりで要となる政務調査会の副会長に就任しました（写真右から2人目）

第322回定例県議会 平成26年度予算案を可決

安全元気ふるさと兵庫のスタート予算に

総額3兆5464億円にのぼる平成26年度の県当初予算案が、今年3月の第322回定例県議会で可決されました。

第3次行革プランを踏まえ、行財政全般にわたりゼロベースで点検し、“選択と集中”によって施策の重点化を徹底、

「ひょうごの元気」につなげる投資規模を確保しているのが特徴です。2月補正と合わせた通年予算

で、消費税率引き上げによる景気の腰折れを回避するため、投資的経費を前年度と同水準まで確保しています。

第3次行革プランの財政フレームに基づけば平成30年度には収支がプラスに転じる見通しで、県は「安全元気ふるさと兵庫」のスタート予算として位置づけています。

「PEASE CRACKER」が誕生

ミュージアムロードの新シンボルに

HAT神戸の県立美術館から北に向かって王子動物園までの区間「ミュージアムロード」に新たなシンボルが誕生、高さ4m、長さ8mのオブジェ「PEASE CRACKER」が完成し、美術館手前の歩道に設置されました。

舟形をしたエンドウ豆の天蓋に、港や工業地域という地域性が融合したデザインです。



六甲山でイノシシ対策

神戸市内で、イノシシによる人身被害や農作物被害などが続いています。このため、防護、捕獲、普及啓発の3本柱で進める総合的対策を実施しています。具体的には、防護柵の維持管理と効果検証、猟期外捕獲、餌付け禁止などの普及啓発に取り組んでいます。



神戸県民局が「神戸県民センター」に

神戸県民局は、業務の専門性の向上や機動力の強化を図るため、一部の業務を統合再編し、4月1日から「神戸県民センター」に名

称を変更しました。今後とも、神戸市との連携のもと、より効果的・効率的な県民サービスを提供していきます。



▲山形昭子参院議員と固い団結

▼静岡県の自然農園を視察



▲ランニングバギーを使ったエクササイズ教室「ベビワン」のメンバーと



◀街頭活動も積極的に展開。県政による灘区での取り組みをPRしています

北浜みどりの フォト・レポート

灘区名物のだんじり祭り。毎年、大勢の人出で賑わいます



▲自民党女性局長の三原じゅん子参院議員と街頭演説



◀大震災の教訓を風化させまいと、防災訓練への参加を呼びかけています



▲毎年1月17日には阪神・淡路大震災の追悼のつどいに参加



▲三田市にある知的障害者施設の作業所を訪問



▲障害者就労支援B型施設のマブイ六甲が水道筋商店街に100円均一ショップを開設



▲児童養護施設退所者支援団体のリーダーと



▲教育再生フォーラムのパネリストとして新たな教育のあり方を訴えました